

## 平成26年一番茶実収報告

京都府農林水産技術センター  
農林センター茶業研究所

### 1. 摘採日

仕立て法	本年	前年	前5か年	平年
自然仕立て	5月10日	5月10日	5月8日	5月7日
弧状仕立て	5月9日	5月10日	5月9日	5月7日

注) 平年は、平成6年～平成25年までの20年間の平均値

### 2. 生葉収量 (kg/10a)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	収量	指数	収量	指数	収量	指数
自然仕立て	744.5 ± 56.7	104	740.0 ± 76.1	104	714.4 ± 62.9	100
弧状仕立て	285.4 ± 88.2	77	281.3 ± 47.8	76	371.4 ± 80.6	100

指数は前5か年平均を100とした場合の比。

### 3. 百芽重 (g)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	重量	指数	重量	指数	重量	指数
自然仕立て	47.0 ± 4.5	89	59.4 ± 7.6	113	52.8 ± 4.1	100
弧状仕立て	42.6 ± 8.1	96	35.2 ± 5.3	79	44.3 ± 8.3	100

### 4. 新芽数 (本/m<sup>2</sup>)

仕立て法	本年		前年		前5か年平均	
	新芽数	指数	新芽数	指数	新芽数	指数
自然仕立て	865.2 ± 41.2	120	451.8 ± 39.0	63	721.5 ± 98.9	100
弧状仕立て	1896.7 ± 399.7	107	1415.0 ± 295.0	80	1765.0 ± 415.2	100

注) 自然仕立ての数値は、20cm幅帯摘みの新芽数

### 5. 出開き度 (%)

仕立て法	本年	前年	前5か年平均
自然仕立て	67.8	42.2	46.4
弧状仕立て	77.4	77.5	78.6

## 6. 概要

### (1) 摘採日

本年の一番茶摘採日は、自然仕立て園が5月10日で前年と同日、前5か年平均より2日遅かった。弧状仕立て園は5月9日で、前年より1日早く、前5か年平均と同日であった。

### (2) 生葉収量

10a当たりの生葉収量は、自然仕立て園では、744.5kgと前5か年平均よりやや多く、新芽の伸長がやや緩慢であったものの新芽数が多かったことに起因するものと考えられた。弧状仕立て園では、百芽重、新芽数、新芽長、新葉数、いずれもほぼ平年並であったが、収量は285.4kgと前5か年平均よりやや少なかった。

### (3) 病害虫の発生状況

チャノコカクモンハマキ越冬世代は、5月までのフェロモントラップへの誘殺数は平年並、誘殺ペースは平年並で経過した。

チャノホソガ越冬世代は、フェロモントラップへの誘殺数は平年並、半数誘殺日は平年並～やや遅であった。

いずれの種においても、当所茶園における発生は認められなかった。

茶園周辺の山林や雑木林などで鱗翅（チョウ）類の幼虫が大量に発生し、茶園に侵入する事例が散見された。

### (4) 周辺茶園の状況

全農京都茶市場への出荷量は、前年比で煎茶 89.8%、かぶせ茶 90.3%、てん茶(手摘み)96.6%と少なく、玉露は 100.0%と前年並となった。(6月3日現在)